

製品名: プラコフィリン 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16238**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	130kDa

抗原情報

遺伝子名	PKP4
別名	PKP4; Plakophilin-4; p0071
遺伝子 ID	604276.0
SwissProt ID	Q99569
免疫原	抗血清はヒト PKP4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 185-234

背景

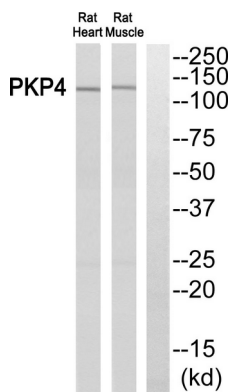
アルマジロ様タンパク質は、ショウジョウバエの「armadillo」遺伝子産物で初めて定義された、通常 42~45 アミノ酸長の一連のアルマジロ反復配列を特徴とします。これらのタンパク質は、反復配列の数、全体的な配列類似性、および配列全体にわたる反復配列

の分散に基づいてサブファミリーに分類できます。アルマジロ様タンパク質の p120(ctn)/プラコフィリンサブファミリーのメンバーには、CTNND1、CTNND2、PKP1、PKP2、PKP4、および ARVCF が含まれます。PKP4 は、デスモソームプラークやその他の接着プラークの構成要素である可能性があり、ジャンクションプラークの組織化とカドヘリン機能の調節に関与していると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。 [RefSeq 提供、2015 年 2 月],機能:ジャンクションプラークにおいて役割を果たす可能性がある。 ,PTM:DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による) ,類似性:β-カテニンファミリーに属する。 ,類似性:9 つの ARM リピートを含む。 ,細胞内局在:培養上皮細胞においてデスモソームジャンクションプラークにおいてデスモプラキンと共局在する。 ,サブユニット:PDZD2 と相互作用する。 ,

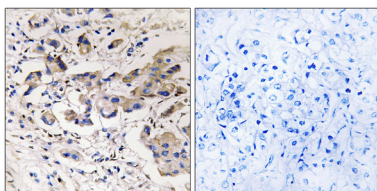
研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞外マトリックス; 構造; デスモソーム

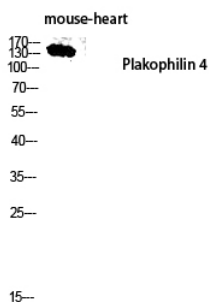
画像データ



PKP4 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが PKP4 ペプチドでブロックされている。



PKP4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右レーンが PKP4 ペプチドでブロッキングされている。



プラコフィリン 4 抗体を用いたマウス心臓溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。